

「平成21年度 ぎょさい推進全国会議」を開催 ～「協同組合運動とぎょさい」など3氏による講演などで盛会～

去る7月16日、青森市の「ホテル青森」において、全国から漁業者・漁協役職員の皆様130名に参加いただき、「平成21年度ぎょさい推進全国会議」を開催しました。会議では本会佐藤専務の挨拶の後、現地開催に協力いただいた青森県漁業共済組合 三津谷組合長の歓迎の挨拶に続き、地元青森県 農林水産部 坪田水産局長の来賓挨拶の後、以下3氏の方々による講演をいただきました。

最初に水産庁の内海漁業保険管理官からは「漁業共済と積立ぶらす」をテーマに、「昭和39年に制度化された



漁業共済事業と平成20年度からスタートした漁業経営安定対策事業(積立ぶらす)は、いずれも漁業者の漁業経営安定を目的とした事業であり、漁業施策の中でも重要な事業である。これらを利用し、明日の漁業の担い手となる経営体をしっかり育成することが急務であり、何よりも漁業者が経営改善のための創意努力を行っていくことが重要なポイントである。引続き制度への理解と一層の普及拡大に支援願いたい。」と講演されました。

(写真は、内海漁業保険管理官)

続いて、野牛漁協 渡邊参事より、体験発表「漁船漁業とぎょさい」の講演では、「漁協設立当初より、役員が漁業共済制度の必要性を認識し、主幹漁業の「こんぶ漁業」の加入を果たし、以後これを契機に、小型漁船漁業、ほたて貝桁網、小型定置と全漁種の加入を行ってきた。特に平成10年にはスルメイカの大不漁に見舞われ、借入金や未払い金の返済に窮するなか、「ぎょさい」の共済金を担保に融資をするなどの対応により不漁を乗り越えた経験から、ぎょさいの有用性を改めて認識した。また平成3年には台風により地まきほたて貝が全滅した際には、組合員の努力により3年間で欠損金を解消することができたが、この際にも共済金が役立った。これらいくつかの経験から漁協が組合員の経営安定をめざすのであれば、「ぎょさい」はもとより「積立ぶらす」の推進をすべきとの考えである。今年4名が積立ぶらすへ加入し、現在全員の青色申告移行を進めている。一方で不漁の際には、補償の低下と掛金の負担感のアップにより契約の継続確保に苦労することもあるが、その際には組合員にぎょさいの必要性を丁寧に説明することがもっとも重要だと考えて



いる。最後に経営対策と災害対策として「ぎょさい」ならびに「積立ぶらす」が将来に渡り機能を果たしてゆくためには、共済ニーズが多様化する中で義務加入制の見直し等時代に即したチェンジも必要である。」との講演をいただきました。

(写真は、野牛漁協 渡辺参事)

続いて、JF青森県漁連 植村会長より、「青森県の協同組合運動とぎょさい」をテーマに、「日本の漁業は衰退の方向ともいわれるが、日本の協同組合は世界に類を見ないすばらしいもの。漁村と漁業の中核をなしてきた漁協の基盤強化をするために「甦れ!!協同組合運動」を掲げアクションを起こしてゆく必要があり、浜のど根性を示すときである。特に資源の回復と金融の回復が大きな課題である。昭和45年に1200名の組合員、6漁協の合併により平内漁協がスタートして以来、漁協の組織強化に取り組んできた。この中で「共販体制の確立」と「青色申告制度の推進」、「ぎょさい加入」は最も重要なポイントであり、昭和51年「むつ湾漁業青色申告会連合会」の発足は全国的なニュースとなった。この青色申告と「積立ぶらす」の加入要件として符号する点については不思議な思いがある。

協同組合の組合という組織がしっかりとした総合力を持ち、限られた漁業資源を有効利用することで漁業者の共存社会の確保存続が可能となる。資源は有限であり、ある面抑制の中で経営が存続される。漁協がそれをやる組織力をもつことが重要であり、それをやるのが浜のリーダーである。



組織を強化し、様々な災害などに対処できる、加入のしやすい「ぎょさい」を作り上げること。所得補償も含め、今後の漁業における課題をグローバルな視点と協同組合の運動の原点を考え、漁業、魚価の安定、さらには漁村の活性化を目指していく必要がある。各浜のリーダーとも協議を重ねながら、日本の漁業は有望であることの認識を新たに、今後とも頑張っていきたい。」と講演いただきました。

(写真は、JF 青森県漁連 植村会長)

翌日は、総勢50名の方に引続き参加いただき、JF平内町漁協(三津谷廣明組合長)のご協力により「ほたて養殖業とぎょさい」について現地研修をさせていただきました。説明をされた須藤参事からは、「ぎょさい加入は、過去ほたての大量へい死等のつらい経験をへて、加入促進がなされ今日に至っており

決して順風満帆に現在にいたったわけではない。「積立がらす」は良い制度であるが、加入要件が厳しい点は課題である。」などのお話をさせていただきました。

今回の会議では、青森県の県庁をはじめ漁協系統をあげた皆様の全面的なご支援と、暖かい受入れにより、参加者の方々からは、沢山の感謝の言葉と満足の笑顔をいただき、充実した会議となり全国各地よりご参加いただきました皆様と会議開催にご協力いただきました関係の皆様にご心からお礼申し上げます。